



教総第3011号
令和5年12月27日

関係市町村教育委員会事務局
「こころの再生」府民運動主管課長 様

大阪府教育庁
教育総務企画課長

令和5年度「こころの再生」府民運動@スクール表彰に係る
表彰校の決定及び表彰式の実施について（通知・依頼）

日ごろから「こころの再生」府民運動の推進に、ご協力いただきありがとうございます。
先般「こころの再生」府民運動@スクール表彰に係る推薦をいただきました各学校について、審査の結果、下記のとおり表彰することとなりましたのでお知らせいたします。
つきましては、「こころの再生」府民運動紹介電子版リーフレット「こころ leaf」の作成に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

記

- (1) 受賞校 11 校園（校区）
- | | |
|-------------|--------------|
| 富田林市立錦郡幼稚園 | 交野市立交野みらい小学校 |
| 熊取町立南小学校 | 枚方市立五常小学校 |
| 大阪市立桜宮中学校 | 交野市立第一中学校 |
| 岸和田市立北中学校 | 太子町立中学校 |
| 田尻町立中学校 | 能勢町立能勢ささゆり学園 |
| 寝屋川市中木田中学校区 | |

- (2) 表彰式
「別紙1」表彰式の実施について（依頼）を参照

- (3) 「こころの再生」府民運動紹介電子版リーフレットの作成
「別紙2」「こころの再生」府民運動紹介電子版リーフレットの作成について（依頼）及び
「別紙3」「こころの再生」府民運動紹介電子版リーフレットの作成要領に記載



©2014 大阪府もずやん

【お問合せ先】
〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目
大阪府教育庁 教育総務企画課
広報・議事グループ 臥龍岡・清水
T E L : (06) 6944-8042 (直通)
F A X : (06) 6944-6884
E-mail : kyoisomu-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp

令和5年度「こころの再生」府民運動@スクール表彰 エントリーシート

令和5年10月23日

学校名 枚方市立五常小学校

校長名 榊 正文

以下の通り、「こころの再生」府民運動@スクール表彰にエントリーします。

タイトル	(活動名) おしごとマルシェ by Flags (子どもは未来)
活動内容	<p>① 活動内容の概要と本府民運動との関連について</p> <p>子どもの貧困の問題で明らかになったのは、子どもが成長する過程で「体験の格差」があり、それが学力にも影響していることである。世の中に様々な職業があることを知っている子どもと、身の回りの範囲の職業しか知らない子どもでは、自分の人生の描き方や生きていく意欲に、大きな格差が生じてしまう。</p> <p>運営母体のFlagsがめざすのは、「体験格差の解消」である。「おしごとマルシェ」では、毎回設定するテーマに沿ってその道のプロフェッショナルを20組以上招き、子どもたちに楽しく体験させたり講話を聞かせたりすることで、職業を身近なものとしキャリア教育のサポートをする。</p> <p>一方、集うプロフェッショナルの方は、ボランティアで全て手弁当である。高齢化で地域活動の担い手が年々不足していると言われていたが、市民アンケートによれば、「機会があれば社会に貢献したい、ボランティア活動をしたい」という市民は60%以上もいる。そういった市民が遠方から集うほどの興味を引くのが、「大義のある目的型ボランティア活動」である。Flagsの「将来を担う子どもを大事にする」という大義と目的に共感して集うのである。また、そのような同じ志向性をもった市民が集まることで、「新しいネットワーク型の交流」を生み出していることも、地域社会の大きな活性化につながっている。</p> <p>これを実現するための重要な考え方は、地域を地域住民だけのものとせず、「開く」ということである。当地域で公益活動を担うために集ってくれるのであれば、その人々を広い意味での「地域住民」と考え歓迎するということである。今回具体には、地域の重要な資産である学校を開き、狭義での「地域住民」以外の市民が中心の担い手になり、従来の「地域住民」は、そのサポートに回っていることが特筆すべきことである。</p> <p>さらに、大規模災害時には、日本全国から多く復興ボランティアが被災地に入るが、地域の防災力、レジリエンス力を高める意味で、被災地の外との「つながり 絆」を用意しておくことが重要である。当取り組みはこれまでの常識とは異なる全く新しい切り口で「新しいネットワーク型の交流」を生み出すしかけとなっている。</p> <p>② 参加した園児・児童・生徒や保護者・地域の方等の範囲と人数</p> <p>本校を中心に、中学校区の児童と家族毎回300名以上、これまで4回の開催で延べ1200名以上の参加。主催側スタッフは主に近畿圏から毎回50名以上の参加。</p> <p>③ 取組みの実施歴</p> <p>令和5年4月29日から開始、11月3日までで計5回実施。年度内にさらに4回を計画。</p>

	④ 本表彰以外の受賞や報道掲載
	⑤ 取組みの地域への影響 市内の学校から Flags に対し「おしごとマルシェ」を開催してほしいとの要望や、近畿圏の市で実施するためのノウハウを提供してほしいという要望があった。(既に提供している)
効果	実績を積んでいくことで、地域社会(もちろん地域の児童生徒は当然)に相当な知名度をもつようになった。「おしごとマルシェ」が核となり、地域の、そして地域を限定しない「新しいネットワーク型の交流」が生まれている。すなわち、一度参加した人が主催者 Flags のスタッフとなり継続的にイベントに参加することで広がる形や、参加者同士が個々自由にネットワークを広げる形である。SNS 等を通じてある程度確認できるが、「おしごとマルシェ」が核となることで、広域で指数関数的におだやかな市民の連帯が形成されつつあると思われる。
連絡先	

※ 参考となる写真等の資料を以下に添付してください。必要な場合、枠を追加してください。









